

第41回 品質保証分科会 議事録

1. 日 時 : 平成27年6月12日(金) 13時30分～14時55分

2. 場 所 : 日本電気協会 C, D会議室

3. 出席者(順不同, 敬称略) :

出席委員: 中條新分科会長(中央大学), 棟近現分科会長(早稲田大学), 渡邊邦新副分科会長・幹事(JANSI), 佐藤(元東京海洋大学), 原田(東京電力), 櫻井(関西電力), 石田(中部電力), 菅野(電源開発), 櫻庭(東北電力), 島津(北海道電力), 西岡(四国電力), 山本(日本原燃), 森(JANSI), 武田(東芝), 高橋(富士電機), 丸岡(日本製鋼所), 長浜(清水建設), 藪内(鹿島建設), 谷口(大成建設), 米岡(LRQA), 菅谷(日本NUS), 関谷(発電設備技術検査協会), 小野(三菱原子燃料) (計23名)

代理委員: 梶谷(日本原電・古谷代理), 道下(北陸電力・塚本代理), 千葉(日立GEニュークリア・エナジー・手柴代理), 原田(中国電力・本田代理), 中川(テクノファ・須田代理), 大谷(三菱電機・御手洗代理), 尾本(九州電力・岡野代理), 松山(三菱重工業・浅田代理), 佐野(IHI・大久保代理), →以下新委員候補2名: 藤巻(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン), 清水(日本原子力研究開発機構) (計11名)

欠席委員: 飯塚(東京大学), 吉田(熊本大学), 中川(原子燃料工業) (計3名)

常時参加者: 渡邊雅(原子力規制庁), 林田(原子力規制庁) (計2名)

オブザーバ: 鈴木(中部電力) (計1名)

事務局: 荒川, 沖, 美馬, 井上, 志田(日本電気協会) (計5名)

4. 配付資料

資料 41-1-1 原子力規格委員会 品質保証分科会委員名簿

資料 41-1-2 " 品質保証検討会委員名簿

資料 41-2 第40回品質保証分科会 議事録(案)

資料 41-3-1 原子力安全のためのマネジメントシステム規程(JEAC 4111-2013)の適用指針 JEAG 4121-2015 発刊稿(案)

資料 41-3-2 JEAG 4121-2015 パブコメ以降のエディトリアルなコメントの処置(品質保証検討会)

資料 41-4-1 日本機械学会誤記対応(水平展開)確認結果(品質保証検討会)

資料 41-4-2 JSME 誤記対応のうち JEAC 4111-2009 確認表(品質保証検討会)

資料 41-4-3 JSME 誤記対応のうち JEAC 4111-2013 確認表(品質保証検討会)

資料 41-5 平成27年度 JEAC 4111 講習会等 計画(品質保証検討会)

5. 議事

(1)代理委員の承認, 会議定足数の確認, オブザーバの会議参加承認

事務局より, 本日の代理出席委員9名が紹介され, 棟近分科会長により出席が承認された。交代による新委員候補2名(承認前のため厳密には代理委員に相当)を含め出席委員が34名となり, 全委員37名の3分の2以上(25名以上)という会議定足数を満たしていることが事務局より報告され, 確認された。また, オブザーバ1名の会議参加が分科会長により承認された。

(2)分科会委員及び検討会委員の交代

事務局より, 資料41-1に基づき, 前回(H27年3月)以降の分科会委員及び検討会委員の交代が紹介され, 分科会の新委員候補2名は6月23日に開催される第55回原子力規格委員会で承認

される予定であることが説明された。検討会の新委員候補 2 名について、決議により承認された。

【品質保証分科会】

a.交代(2名)

- ・福本 隆(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン) → 藤巻 真吾(同左)
- ・田子 格(日本原子力研究開発機構) → 清水 勇(同左)

【品質保証検討会】

a.交代(2名)

- ・芝原 啓介(日立 GE ニュークリア・エナジー) → 野村 敬一(同左)
- ・中村 義武(日本原燃) → 若山 孝志(同左)

(3) 前回議事録の確認

事務局より、資料 41-2 に基づき、第 40 回品質保証分科会議事録(案)が紹介され、決議により承認された。

(4) 分科会長選任、幹事の指名

棟近分科会長から辞任するご意向が表され、渡邊幹事より後任の分科会長候補として中條委員が推薦された。出席委員による無記名投票が行われた結果、中條委員が新分科会長に選出され、中條新分科会長により渡邊邦委員が幹事及び副分科会長に指名された。

(5) JEAG4121-2015 の発刊準備状況について

事務局、幹事より、改定案は 1/16～3/15 の公衆審査期間に意見提出がなかったことから成案となり、検討会でレビュー作業を重ね抽出した編集上の修正について、原子力規格委員会運営規約(細則)に基づき、分科会長の承認を得て実施する旨の報告があった。

鈴木検討会主査より、資料 41-3-1～2 に基づき、具体的な修正内容の説明があった。

<主な質問・コメント>

- ・資料 41-1, 247 頁, 最後の行「業務に直接かかわってはいけない。」は「業務に直接かかわってはいけならない。」に修正してはどうか。

→ 拝承

(6) 日本機械学会の規格の誤記対応について

渡邊幹事より、資料 41-4-1～3 に基づき、品質保証検討会で JEAC4111 について確認したところ誤記はなかったこと、その旨基本方針策定タスク越塚主査に報告したことが説明された。

<主な質問・コメント>

- ・資料 41-4-1, 最終頁の第 9 章, 「……違いはあるが, 趣旨は違うものではない。」の記載を「……違いはあるが, 矛盾するものではない。」に修正してはどうか。

→ 拝承

- ・発刊予定時期・販売価格について

→ 発刊時期については、7月下旬から8月上旬を予定しており、販売予定価格は、1万円程度を考えている。

(7) 平成 27 年度の品質保証コースⅡ, Ⅲ, Ⅳ講習会等計画について

渡邊幹事より、資料 41-5 に基づき、平成 27 年度の品質保証コースⅡ, Ⅲ, Ⅳ講習会等計画について報告があった。

コースⅡについて、前年度 2 回(東京, 大阪)の実施を 27 年度は 1 回(東京)とし、受講者が多くても対応できる大きな会場(タイム 24)としたことや、9 章が追加された影響で他の章が圧縮されトラブル事例等の説明時間を確保できなかったことから、27 年度は講習時間を 2 時間程度拡大する方向でスケジュールとテキストの見直しを計画していることが説明された。

本資料を6/23の規格委員会に報告することが、決議により承認された。

<主な質問・コメント>

- ・前年度のコースⅡの東京、大阪コースは人数が多く会場が狭い感じであったのか。
- 東京コースが約100名、大阪コースが60数名であったが、大阪コースではメーカからの受講者が多かった。これまで主に事業者を対象に説明しているが、メーカの人が多くなれば少し説明を工夫しなければならぬので、テキストの見直しを含めこれから検討していく。
- ・所属組織で余裕のある場合は是非受講者を出していただけるようお願いしたい。メーカにも役立つ内容になるよう考えるのでよろしくお願いする。

6. その他

- (1) 検討会委員を兼任する委員から、「分科会には建設業界の委員がいるが検討会にはいない。今後検討会で事業者がメーカに発注する附属書や標準品質保証仕様書を具体的にどうするか議論するので、建設業界からも委員を出してほしい。」との発言があり、鈴木検討会主査、渡邊幹事からも同様の要望が示された。今後の検討会の日程等を分科会委員にメール周知し、各社で検討していただくことになった。
- (2) 次回の品質保証分科会の開催日程については、分科会長、幹事と調整し、後日事務局よりメールで通知する。

以上